

2022年業務実績報告書

提出日 2023年 1月 17日

1. 職名・氏名 教授・杉山泰之

2. 学位 博士(経済学)、専門分野 国際経済学、授与機関 大阪大学、授与年 2008年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 国際経済学A(2単位、2年生) *07年度以前入学生の「貿易論」にあたる。
② 内容・ねらい (I) 貿易が起こる理由と一国の輸出入のパターン、(II) 貿易がもたらす利益とその源泉、(III) 貿易政策の効果等について基礎的な理論を学ぶとともに、国際貿易体制や貿易取引の現状を把握し、現実の貿易に関する諸問題を見る目を養うことが目標である。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 5月27日の国際経済学A(貿易論)をZOOMでの公開講座とした。国際交流の一環として、江陵原州大学(本学協定校)の安祐徹先生、呂寅満先生に国際物流や韓国高速鉄道(KTX)と地域経済の関係について講義をして頂いた。 また、通常の講義では教科書レベルのオリジナル資料を毎回配布し、その資料内容について解説した後、内容に関するクイズを行うことで、学生がどの程度内容を理解しているかを確認しつつ、講義を展開していった。 【ゲストスピーカー 2人】
① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 国際経済学B(2単位、2年生) *07年度以前入学生の「国際金融論」にあたる。
② 内容・ねらい (I) 為替レートの決定とその要因、(II) 為替レートの変化と貿易収支の調整、(III) 為替介入や開放経済下における財政・金融政策の効果等について基礎的な理論を学ぶとともに、国際通貨制度や国際金融取引のしくみを把握し、現実の国際金融に関する諸問題を見る目を養うことが目標である。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 11月25日の国際経済学B(国際金融論)をZOOMでの公開講座として。国際交流の一環として、台中科技大学(本学協定校)の李嗣堯先生、黎立仁先生に日本と台湾の経済関係や、台中市の人口増加現象と代表的な企業などについて講義をして頂いた。 また、通常の講義では教科書レベルのオリジナル資料を毎回配布し、その資料内容について解説した後、内容に関するクイズを行うことで、学生がどの程度内容を理解しているかを確認しつつ、講義を展開していった。 【ゲストスピーカー 2人】
① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 基礎ゼミ(2単位、2年生)
② 内容・ねらい 経済学の理論的な考え方を身につけること。その上で、現実の経済問題について調べ、その問題に対する自分なりの考えをまとめること。そして、今後の専門科目の勉強・研究に向けて目的意識を高めていくことが目標です。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 6月28日の基礎ゼミでは永平寺町の観光施設えい坊館を訪問し、永平寺町役場商工観光課の職員の方も同席のもと、観光物産協会の方から永平寺町の観光の現状と様々な取り組みについてお話を聞かせて頂いた。 また、通常の基礎ゼミではミクロ経済学、マクロ経済学、そして国際経済学に関するトピック

[テキストを入力]

<p>クについてこちらが資料を準備し、その内容について補足説明を入れつつ、学生と資料の内容を読み進めていった。 【フィールドワーク等 1件】</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 演習Ⅰ（4単位、3年生）</p>
<p>② 内容・ねらい 国際経済学の理論的な知識を修得すること、世界経済の状況や貿易・国際金融システムとその機能を把握すること、このゼミを通じて自分の意見をまとめ、しっかりと伝えられるようになることが目標である。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 12月3日の演習Ⅰでは敦賀港国際ターミナル株式会社を訪問し、敦賀港の利用状況と敦賀港利用を促進するための政策、効率的なコンテナの配置、環境面での対策などについてお話を聞かせて頂いた。 また、通常の演習Ⅰでは、前期に標準的なテキストやこちらからの補足資料を参考にして、国際経済に関する理論を学び、後期に貿易と環境に関するテーマについて2つのグループに分かれて調査・研究を行った。 【フィールドワーク等 1件】</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 演習Ⅱ（4単位、4年生）</p>
<p>② 内容・ねらい 演習Ⅰでとり上げた内容から一歩進んだレベルの国際経済学の理論を修得すること、国際経済の諸問題についてそれらの理論を用いて一考察を加えること、ゼミを通じてその内容をまとめ、報告することなどが目標である。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 2022年度はなるべく多くのゼミ生が卒業論文を提出できるよう演習Ⅱを進めた。各自が興味に応じて課題を設定し、関連する文献や記事を調べ少しずつ文章にしていった。その際、今日の経済問題への理解を深められるよう、毎回進捗状況を報告し、それぞれの研究課題について意見や感想を述べ、お互いに話し合うことを大切にしたい。</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 国際経済特論（2単位、修士課程1年生）</p>
<p>② 内容・ねらい 本講義では国際経済学(国際貿易論・国際金融論)の理論的な分析手法を学んでいく。これらの理論的な考え方に基づいて、新聞等の国際経済欄の情報を一定程度理解できるようになること、そして、その情報に対して何らかの発言ができるようになることが目標である。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 国際貿易論、国際金融論の標準的な理論の解説が中心である。加えて、国際収支統計等を用いて国際経済取引の現状についても確認する。なお、講義はこちらで準備する配布資料に沿って進めていくが、理論の数式については、数値例と図を頻繁に用いて、より直感的に理解できるように努めた。</p>
<p>(2)その他の教育活動</p>

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
① 著書
② 論文（査読あり） * 1. "Optimal Policy for Environmental Goods Trade in Asymmetric Oligopolistic Eco-industries", <u>Yasuyuki Sugiyama</u> , Yunggho Weng, and Kenzo Abe, <i>Resource and Energy Economics</i> 71: 101343, 2023年1月. *ジャーナル HP にて掲載済み 2. "Skill Formation and the Production of Environmental Goods: The Role of Public Education", Fatt Seng Chong and <u>Yasuyuki Sugiyama</u> , <i>The International Economy</i> , forthcoming. *2022年12月16日にアクセプトレター受理
③ 論文（査読なし）
④ 学会報告等
⑤ その他の公表実績：
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
【学外】科研費 1. 基盤 (C) (2018年度～2020年度)「寡占の一般均衡理論を用いた貿易と環境の分析: スキルプレミアムへの影響を踏まえて」(18K01576)、研究代表者. *2022年度まで延長 2. 基盤 (C) (2022年度～2024年度)「国際寡占下の環境産業と環境財の貿易、直接投資に関する理論分析」(22K01439)、研究代表者.
(3)特許等取得
(4)学会活動等
地域公共政策学会 常任理事

5. 地域・社会貢献活動

①-3 委員就任（市町村） 永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会 副委員長、2021年10月～現在に至る
①-4 委員就任（その他公益法人等） 北陸 AJEC（北陸経済連合会）企画部会 委員、2022年10月～現在に至る
⑥ 公開講座 1. 身近な「経済」と働く現場を学ぶ「国際経済学 A（貿易論）経済学部の講義を受講しよう」、ZOOM、2022年5月27日、10:40～12:10. 2. 身近な「経済」と働く現場を学ぶ「国際経済学 B（国際金融論）経済学部の講義を受講しよう」、ZOOM、2022年11月25日、10:40～12:10.

[テキストを入力]

6. 大学運営への参画

(1)役職（副学長、部局長、学科長）
経済学科長 2021年4月～現在に至る
(2)委員会・チーム活動
1年生相談担当教員 大学案内・大学院案内 2024WG メンバー
(3)学内行事への参加
2022年度オープンキャンパス
(4)その他、自発的活動など

[テキストを入力]